

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	(株)野澤實業	代表者	野澤 充広	法人・事業所の特徴	住宅街の中にある施設ですが近くに総合運動公園や古墳群があり四季折々を感じる事が出来る明るい家庭的な雰囲気の中でお過ごしいただける事業所です。
事業所名	のずの里 北若松原	管理者	鈴木 隆之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣住民	事業所職員	合計
		1名	3名	1名		3名	1名	8名	17名

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み	意見	今回の改善計画
A.事業所自己評価の確認	新型コロナに対して自施設で行った取り組みを写真などで分かりやすく紹介させていただく	運営推進会議において感染症予防をどのように対策しているかの資料を作成し紹介させていただいた。又チラシを作成し回覧で流す事で地域等にも周知する事が出来た	よくやっていると思う。写真もわかりやすくして良い。大変だと思いますが引き続き頑張ってください。	推進会議内でも情報の交換などを行い他の施設等でのような対策をしているのか共有し出来る限り実施していく。
B.事業所のしつらえ・環境	コロナ感染対策として施設内で出来る限りの対策を行って運営していきます。	施設内で出来る限りの対策を実施しており、運営推進会議などでも行っている対策を説明させていただきました	実際に行っている対策を写真などで紹介してくれてわかりやすい。引き続き感染症対策を頑張ってください。	職員の抗原検査の実施や施設内で出来る限りの対策をして運営していきます。
C.事業所と地域のかかわり	地域密着型の施設として地域と、どう向き合うか考える	近隣地域の方から野菜などを頂くことが多く凄く助かっている。今後も良い関係を築いていけるようにする	地域等や施設で困っている事を運営推進会議などで共有したい	地域等で困っている事がないか協力出来る事がないかの話し合いの場を設ける
D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	住み慣れた地域で生活出来るように支援していく	来所の拒否がある場合、訪問を強化するなどして出来る限り住み慣れた地域や自宅での生活が出来るような支援が出来ている	他の事業所とも連携しているのか気になります。	必要に応じて自施設だけではなく、地域の資源を最大限活用し住み慣れた地域で今後も生活出来るように職員間全員で考えていく
E.運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議など施設で行っている取り組みを職員間で共有する	運営推進会議の議事録を職員間で回覧し、施設の運営について職員全員が理解出来るような取り組みを行う	運営推進会議で出た意見を運営に反映出来れば良いと思う。	運営推進会議で出たご意見を運営に反映し、職員間でも改善点などについて話し合う取り組みを行う
F.事業所の防災・災害対策	年2回の消防訓練や避難訓練を行い実際の指定避難場所まで誘導を行う。	実際に指定の避難場所まで車と歩きで避難をして避難誘導の時間を計測した。	避難場所が若松原中学校だが、ヨークベニマルの駐車場の方が近いのでそちらでも良いと思う	あらゆる災害を想定しての避難訓練を行い運営推進会議内でも事業所の災害対策を周知していく